

2026年6月24日

2026年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第5回 6月下旬分)

香川県水産試験場 環境・資源研究課 (植田)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は、前年を上回ったものの、平年は下回った。

前年	2025年6月17日	(7点の平均)	14.3 個/m ³
前回	2026年6月1日	(7点の平均)	18.3 個/m ³
今回	2026年6月16日	(7点の平均)	21.6 個/m ³
※6月下旬の平年値			34.4 個/m ³

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は、前年を上回ったものの、平年は下回った。

前年	2025年6月17日	(7点の平均)	0.7 尾/m ³
前回	2026年6月1日	(7点の平均)	2.1 尾/m ³
今回	2026年6月16日	(7点の平均)	1.8 尾/m ³
※6月下旬の平年値			5.0 尾/m ³

○プランクトン調査

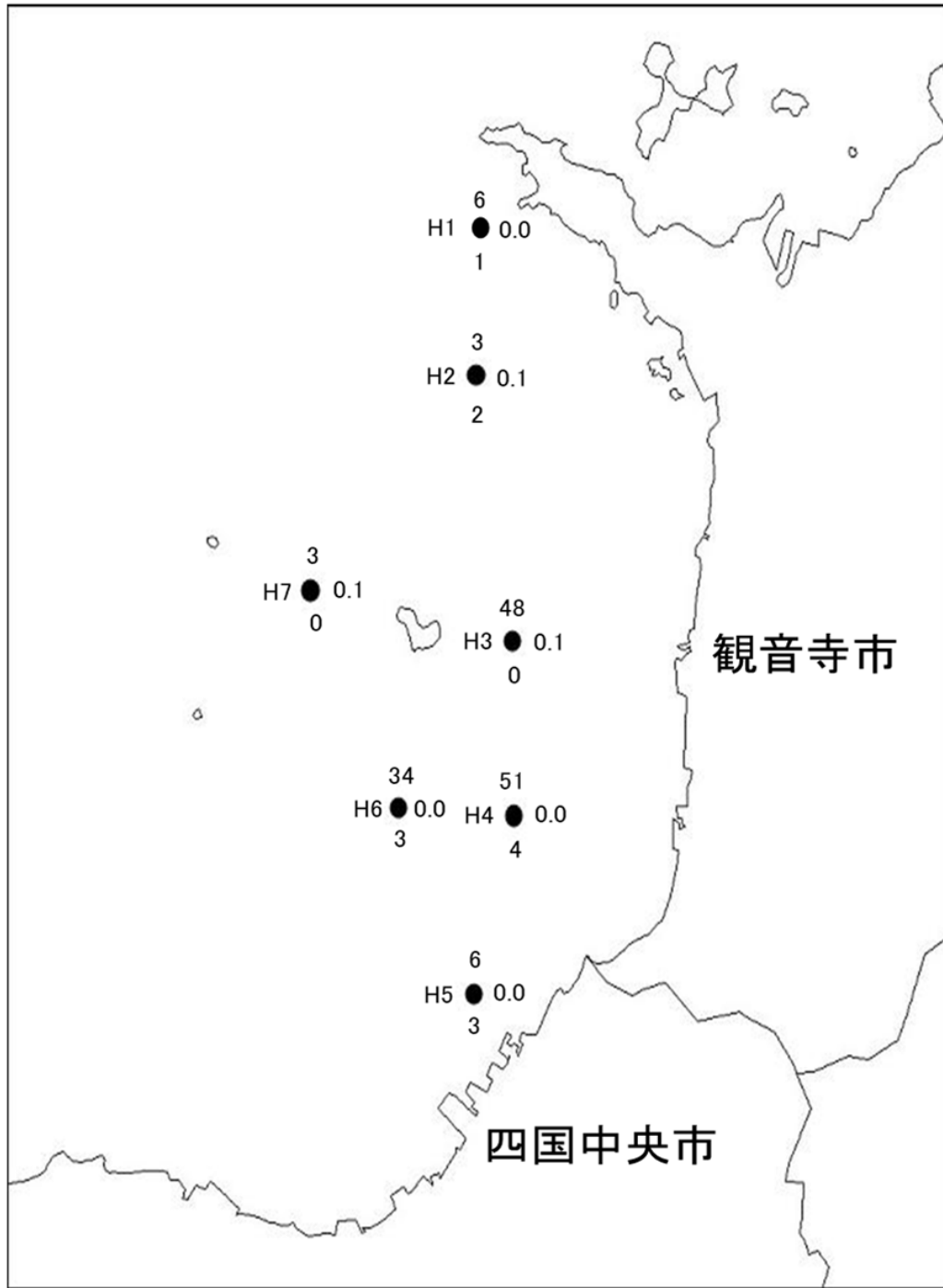
カタクチイワシの主要な餌であるカイアシ類量は、前年を上回ったものの、平年は下回った。

○カブトクラゲ調査

カタクチイワシの餌料競合種であるカブトクラゲ量は、平年を大きく上回った。

次回の調査は7月1日(水)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2026/6/16)



●の上側がカタクチイワシ卵密度(卵数/m³)を、
下側がカタクチイワシ仔魚密度(仔魚数/m³)を、
右側がカイアシ類密度(カイアシ類量ml/m³)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。

21 ←	卵密度
凡例 ● 0.6 ←	カイアシ類密度
5 ←	仔魚密度

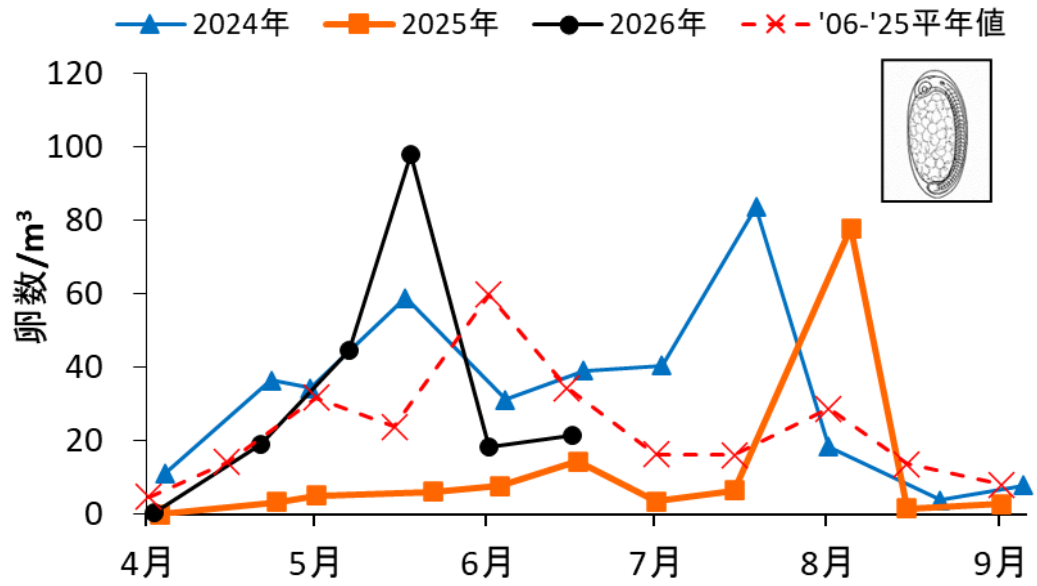


図. カタクチイワシ卵数の推移

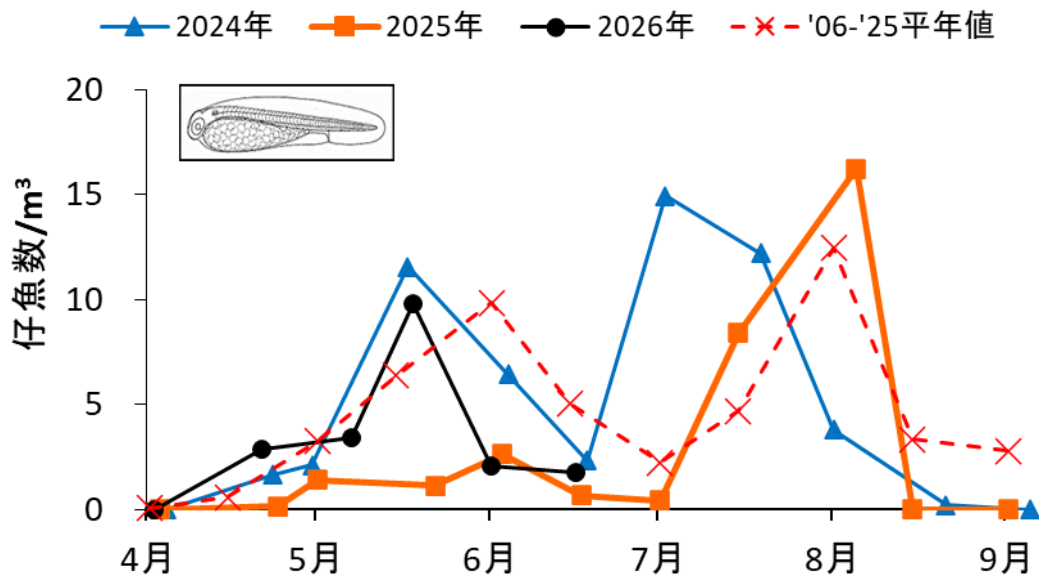


図. カタクチイワシ仔魚数の推移

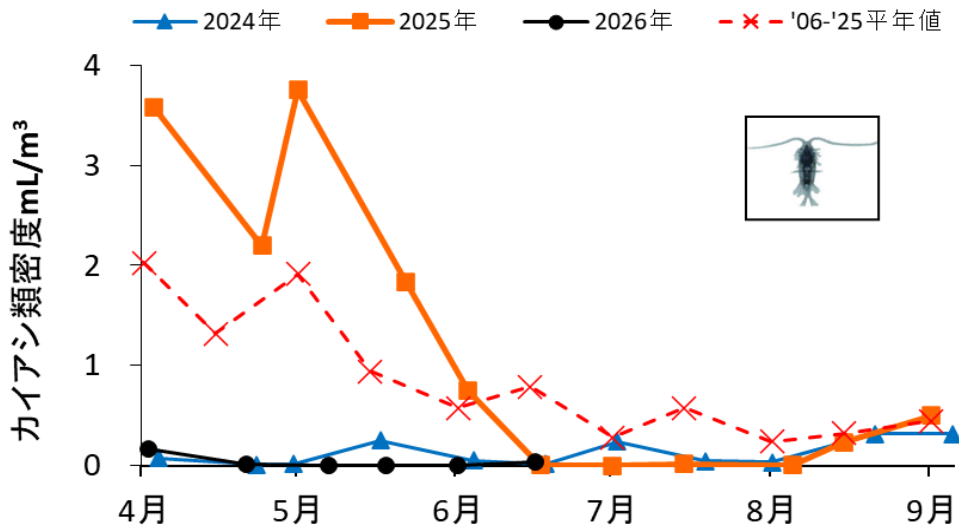


図. カイアシ類量の推移

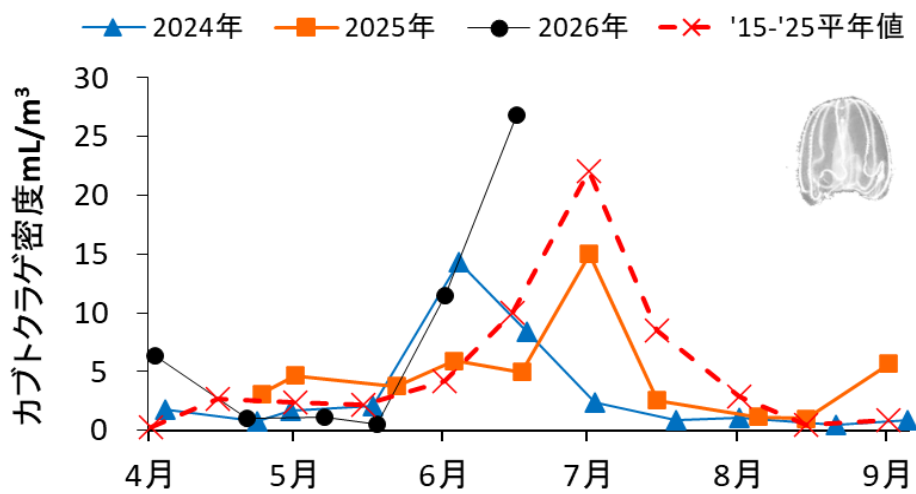


図. カブトクラゲ量の推移

※カイアシ類量は、プランクトン採集量（沈殿量）に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。
 ※カブトクラゲは、丸特Bネットによる全定点の平均採集量。
 ※この報告の情報により不利益等が発生した場合において、水産試験場は何ら責任を負いません。

2026 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(5回目)

調査日: 2026/6/16

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ仔魚	マイワシ仔魚	その他稚仔
H1	20	22.4	22	0	10	4	0	1
H2	20	23.6	10	0	1	5	0	0
H3	20	23.5	115	0	6	1	0	1
H4	20	23.6	101	0	1	7	0	0
H5	20	23.5	14	0	2	6	0	1
H6	20	23.6	72	0	5	7	0	2
H7	20	23.1	7	0	1	0	0	0
平均		23.3	49	0	4	4	0	1

※卵稚仔数は採集数を示す。